

平成 24 年度 第 1 回財務委員会議事録

開催日時：2012 年 4 月 20 日 石橋文化会館 2F 「会議室 A」 8：00～9：00

出席者：新井康久、大谷晃司、小森博達、佐藤栄修、星地亜都司、徳橋泰明(理事)、松山幸弘、米延策雄(委員長)

報告事項

1. 平成 23 年度決算と平成 24 年度予算案について

特に問題なく、理事会、評議員会にて承認、総会で報告した。

2. 石原税理士への業務委託について

担当事務局員の退職により石原税理士への業務委託が拡大した。現時点での会計事務状況について報告した。

審議事項

1. 今後の財務運営について

- 財務会計担当事務局員の配置を理事長、事務局長にお願いする。
- 新規財源の確保への努力する。
- 最終的には、公益法人設立をめざす。財務の収支の安定化が得られてからで、学術集会の事務局運営が軌道にのってからの目安。

2. 新規財源の確保

- 学会主導のプロジェクト研究の確保。企業との連携、公的研究費の獲得を目指す。プロジェクト委員会との連携必要で、徳橋委員がプロジェクト委員会に参加が決定している。企画が来たら、学会レベルで対応する。これを最重点強化項目とする。
- 寄付関連は、賛助会員は頭打ち。企業からの寄付は今年 4 月からの状況変化をみてから検討する。個人関係(病院や個人篤志家)の寄付については案を佐藤委員に依頼した。
- 学会の学術集会直接運営による事業収入については、税金対策と消耗備品費など経費の徹底的な節約が重要。
- 学術誌の on line journal 化による経費節約をはかる。これについて編集委員会を中心にすでに動き始めている。
- 収支のバランスも考慮する。確定した目安はないが、1 年間事業収入が無くても学会を運営できる程度を目指す。